

Be Happy! その69

1年次 進路ガイダンス 兵庫県教育員会の先生が講師として

7月12日(水)1年次の進路ガイダンスを開催しました。時間帯は1回目9:35~10:05、2回目10:15~10:45、3回目10:55~11:25です。対象は1年次在校生241人。高校に入学して以来、自分の進路を考える上で、大切な学校行事の一つとしています。

内容は、生徒の進路の希望、興味関心に応じて37分野のブースを設定しました。大学進学を希望している生徒は、学部や学科までを視野に入れた多岐にわたる内容です。例えば、心理学・教育・幼児教育・保育・医療・看護学・文学・工学・経済・社会学・体育学・社会福祉・健康・スポーツ・体育学・バイオ・生命科学などです。それを大学の教授や関係者からのガイダンスとなります。

なかでも、今回特筆すべきことは、明確な意思が確定して教師を志望している生徒、教師になろうか興味関心を持っている生徒に、「教育」というブースで兵庫県教育員会教職員人事課から二人の先生が講師とし進路ガイダンスに参画されました。

兵庫県教育委員会は、全国に先駆け、教員としての職業の魅力ややりがい等について進路ガイダンスで対面の生徒に直接発信することで、教員を職業選択の1つとして考える機会となり、将来教員を目指す人材の育成を目的としています。

お二人の先生は、終始笑顔で、わかりやすい言葉で語りかけるように問いかけ、小グループでワークショップをしながら、対話型のガイダンスを展開されました。私は、常日頃お二人から県教育員会からのご指導ご助言を賜り、学校経営等の講義を拝聴したこともあるだけに、文字通り生徒目線に立って(先生はしゃがみ込んで)生徒達と話をしておられる姿に、「流石だな。凄いな。」とリスペクトの眼差しで感動しました。

ガイダンス教室の後方で短時間ではありますが、拝聴しました時、お二人の先生が蒔かれた種が、今後の加古南の教育活動で芽生え、双葉になって、水をまいて大切に育てていく3年間。その生徒たちは加古南を巣立って、次の進路先(大学)でさらに専門的に学び、そして教育実習で再び加古南に戻って来る。そして社会人として教員採用試験に見事合格して、教壇に立つストーリーをイメージしました。一人の生徒の夢が実現するプロセスで、その種を蒔かれているお二人に、感謝と敬意を表した進路ガイダンスに、Be Happy. **Be Happy!**

